

わがまち歴史探訪、足もとの文化遺産への誘い
ミュージアム都留からのお知らせ

収蔵資料展 開催中!!

会期 5月30日(日)まで

4月21日(水)から展示作品の一部が入れ替わります。

ミュージアム都留の収蔵品から、屏風絵などの大作を中心に日本画を展示します。

【展示資料作家・作品紹介】

○山元櫻月
山元櫻月は、明治20年(1887)滋賀県に生まれました。13才のとき、近代京都画壇の重鎮であり、華麗な山岳風景画で知られる叔父の山元春拳入門しました。

はじめは画号を春汀と称し、明治40年(1907)第一回文展に初入選してから入選を重ね、昭和4年(1929)には帝展推薦として、無鑑査出品が認められるまでになります。

しかし、昭和8年(1933)に師の春拳が没してからは、画号を櫻月と改めて展覧会活動から離れ、山中湖畔にかまえたアトリエで、厳然としてそびえる神嶺富士を昭和60年(1985)に没するまで描き続け



「神嶺富士」 山元櫻月 作



「洞窟」 藤井霞郷 作



「不二」 藤井霞郷 作

○藤井霞郷
藤井霞郷は、明治31年(1898)に東京市芝区(現東京都港区)に生まれしました。母は禾生村の出身で、叔母の養女として品川で育ちました。

霞郷は幼少のころから画才豊かで、日本画の巨匠・川合玉堂の門下生となり、大正13年(1924)に帝展で初入選を果たして、画家として世に認められるようになりました。それ以後、数回にわたって帝展の特選候補に選ばれ、昭和4年(1929)には東久邇宮家新御殿の天井画を描いています。

その後も各展覧会で力作を発表し続けましたが、昭和8年(1933)から病氣療養のため、母と妻の郷里である禾生村に転居しました。

戦争中の生活苦や、長男の戦死など心痛も重なり、終戦後まもなく病床での生活を余儀なくされ、昭和24年(1949)2月に死去しました。

開館時間 午前9時～午後5時
観覧料 一般 300円(210円)
高・大学生 200円(140円)
小・中学生 100円(70円)

※()内は20名以上の団体料金です。
休館日 毎週月曜日、第3火曜日、祝日の翌日
問合せ ミュージアム都留 ☎(45)8008

選を果たして、画家として世に認められるようになりました。それ以後、数回にわたって帝展の特選候補に選ばれ、昭和4年(1929)には東久邇宮家新御殿の天井画を描いています。

増田誠美術館企画展

『季節の情景―冬から初夏へ』

会期 6月13日(日)まで
会場 増田誠美術館(ふるさと会館2階)
開館時間 午前9時～午後4時30分
休館日 月曜日、第3火曜日、祝日の翌日



「セーヌ河夕映え」

【作品紹介】

セーヌ川は、パリの街の中心を流れるフランスで2番目に長い川です。川岸に繋がれた船、橋の向こうの町並み、川面に映える夕日を描いた作品。

問合せ ミュージアム都留 ☎(45)8008

情報未来館だより

初心者パソコン
対象者 市内在住18歳以上の方でキーボード・マウスの使える方

日程 5月16日、23日の各日曜日
時間 午前9時30分～正午
午後1時～4時30分

内容 マウスとキーボードの使い方、ファイルの扱い、簡単な文書作成など
定員 15名
費用 1,000円(テキスト代込み)

開館時間 午前9時30分～午後5時15分
休館日 4月5日(月)、12日(月)、19日(月)、26日(月)、30日(金)

申込・問合せ 情報未来館 ☎(43)1452